

## 議題（２）平成２９年度事業報告及び収支決算について

### １．事業報告

#### （１）会議の開催

##### ①協議会（２回開催）

（平成 29 年 12 月 19 日、平成 30 年 3 月 30 日）

##### 【内容】

- ・ 本格運行の状況について
- ・ 平成 28 年度事業報告及び収支決算について
- ・ 平成 29 年度予算の補正について
- ・ 事業スケジュールの変更について
- ・ 地域公共交通網形成計画作成に係る検討状況について
- ・ 平成 30 年度事業計画及び収支予算について

##### ②分科会

##### ○路線バス網再編検討分科会（２回開催）

（平成 30 年 3 月 2 日、平成 30 年 3 月 28 日）

##### 【内容】

- ・ 事業スケジュールの変更について
- ・ 市民・利用者アンケート、OD 調査の集計結果について
- ・ 市民・利用者アンケート分析に係るゾーン設定(案)について
- ・ OD 調査、利用者・市民アンケートの分析の方向性について
- ・ OD 調査、利用者・市民アンケートの分析について
- ・ 平成 30 年度分科会スケジュールについて

(2) 事業の実施

(単位:円)

科目	重点施策	実施内容	契約先	事業費	備考	
事業費	オレンジゆずるバスの運行 (本格運行)	【平日】 ・平成29年4月1日～平成30年3月31日(292日間) ⇒輸送人員 平均1,588人/日 ⇒収支率 49.0%(目標値50%)  【日祝】 ・平成29年4月1日～平成30年3月31日(73日間) ⇒輸送人員 平均133人/日 ⇒収支率 30.7%(目標値50%)	阪急バス(株)	58,655,184	【事業費の算出】 113,588,284円(運行経費)－54,933,100円(運賃収入)＝58,655,184円(事業費)  【事業費の財源】 25,505,000円(介護保険を活用した市補助金) 33,150,184円(市負担金)	
	<b>計</b>				<b>58,655,184</b>	①
	公共交通の 利用促進	オレンジゆずるバス 利用者アンケート	・オレンジゆずるバス利用者アンケート(2月18日(日)、20日(火)) ⇒ 18日:配布数125、回収率57.6%、20日:配布数1,046、回収率52.9%  ※箕面市コミュニティバス高齢者割引事業費補助金交付申請根拠として実施	(株)アーバントラフィック エンジニアリング	1,911,600	【事業費の財源】 5,411,294円(市負担金)
		運行情報の提供	・バスロケーションシステムの保守業務	阪急バス(株)	1,064,616	
			・電子掲示板(デジタルサイネージ) ⇒ バスロケーションシステムの配信	(株)ケイ・オブティコム	1,640,144	
			・電子掲示板(デジタルサイネージ)の修繕	中井電気工事(株)	145,800	
		バスマップ・時刻表他 印刷業務	・平日、日祝マップ・時刻表印刷	ラクスル(株)	272,538	
			・平日、日祝ポケット時刻表印刷	ラクスル(株)	15,660	
		オレンジゆずるバス ルートマグネット等更新	・オレンジゆずるバスルートマグネット等更新	阪急バス(株)	256,824	
	箕面まつりとの連携	・箕面まつりの際に、専用ブースを設置し、チラシ、うちわ(1,200枚)などを配布 ⇒オレンジゆずるバスの認知度の向上	箕面FMまちそだて(株)	104,112		
	<b>計</b>				<b>5,411,294</b>	②
	バス路線の 再編	箕面市地域公共交通網 形成計画策定に伴う 再編方針等検討業務委託	・公共交通に関する課題整理 ・基本方針および路線バス網再編案の検討	(株)地域未来研究所	(2,332,800) 0	【事業費の財源(平成28年度繰越事業費)】 2,332,000円(市補助金) 800円(自己資金)
		箕面市地域公共交通網 形成計画作成業務委託 (その1)	・箕面市地域公共交通網形成計画の作成	(株)地域未来研究所	3,024,000	【事業費の財源】 1,500,000円(国補助金) 1,524,000円(市補助金)
		箕面市地域公共交通網 形成計画作成業務委託 (その2)	・箕面市地域公共交通網形成計画の作成		—	次年度に繰越(976,000円(市補助金))
		<b>計</b>				<b>5,356,800</b>
<b>計</b>				<b>3,024,000</b>	③'(平成28年度繰越事業費を除いた場合)	
<b>事業費 計</b>				<b>69,423,278</b>	④=①+②+③	
<b>事業費 計</b>				<b>67,090,478</b>	④'=①+②+③'(平成28年度繰越事業費を除いた場合)	
会議費		・学識経験者委員謝礼(協議会2回、分科会2回)		29,600	【会議費の財源】 29,600円(市負担金)	
事務費		・郵便代、高齢者運賃割引証発行、事務用品購入等		320,076	【事務費の財源】 320,076円(市負担金)	
<b>合計</b>				<b>69,772,954</b>	⑤=④+会議費+事務費	

※事業費欄( )書は平成28年度繰越事業費

## 2. 平成29年度地域公共交通活性化協議会収支決算

### (1) 収入

(単位:円)

科 目	当初予算額	補正予算額	現計予算額	予備費支出 及び 流用増減	予算現額	決算額	説 明	
1 負担金	43,132,000	0	43,132,000	0	43,132,000	39,112,778	【箕面市負担金】 ・本格運行経費、バスロケーションシステム保守等	
2 補助金	高齢者割引事業費補助金	24,210,000	0	24,210,000	0	24,210,000	25,505,000	【高齢者割引事業費補助金】 ・本格運行経費
	箕面市社会資本整備事業費補助金	2,500,000	0	2,500,000	0	2,500,000	1,524,000 (※)	【箕面市社会資本整備事業費補助金・国補助金】 ・箕面市地域公共交通網形成計画作成業務委託(その1)
	国補助金	2,500,000	▲ 1,000,000	1,500,000	0	1,500,000	1,500,000	※差額の補助金976,000円は平成30年度への繰越事業
3 繰越金	1,143,299	193,327	1,336,626	0	1,336,626	1,336,626		
4 雑入	0	0	0	0	0	23	預金利子	
合 計	73,485,299	▲ 806,673	72,678,626	0	72,678,626	68,978,427	差額の補助金976,000円は平成30年度への繰越事業	

◆箕面市社会資本整備総合事業費補助金に係る箕面市地域公共交通網形成計画作成業務委託(その2)の976,000円は、平成30年度への繰越事業とする。

### (2) 支出

(単位:円)

科 目	当初予算額	補正予算額	現計予算額	予備費支出 及び 流用増減	予算現額	決算額	説 明
1 会議費	154,200	0	154,200	0	154,200	29,600	学識経験者委員謝礼等
2 事務費	397,100	0	397,100	0	397,100	320,076	郵便代、高齢者運賃割引証発行等
3 事業費	71,790,700	▲ 1,000,000	70,790,700	0	70,790,700	67,090,478	・事業実施委託料(本格運行、利用促進等) ・箕面市地域公共交通網形成計画作成業務(その1)委託料 ・箕面市地域公共交通網形成計画作成業務(その2)委託料976,000円は平成30年度への繰越事業
4 予備費	1,143,299	193,327	1,336,626	0	1,336,626	800	箕面市地域公共交通網形成計画策定に伴う再編方針等検討業務委託料中、自己資金
合 計	73,485,299	△ 806,673	72,678,626	0	72,678,626	67,440,954	976,000円は平成30年度への繰越事業

◆箕面市社会資本整備総合事業費補助金に係る箕面市地域公共交通網形成計画作成業務委託(その2)の976,000円は、平成30年度への繰越事業とする。

### (3) 繰越事業

(単位:円)

科 目	繰越額	決算額	説 明
(収入)補助金	2,372,000	2,332,800	【箕面市社会資本整備事業費補助金】 ・箕面市地域公共交通網形成計画策定に伴う再編方針等検討業務委託
(支出)事業費	2,372,000	2,332,800	・箕面市地域公共交通網形成計画策定に伴う再編方針等検討業務委託料

### (4) 収支

収入合計 68,978,427 円

支出合計 67,440,954 円

収支残額 1,537,473 円

収支残額 1,537,473円は、平成30年度に繰越す。

平成30年9月13日

## 監 査 報 告 書

箕面市地域公共交通活性化協議会  
会 長 柿 谷 武 志 様

箕面市地域公共交通活性化協議会  
監 事 清 田 栄 紀  
監 事 松 出 末 生

平成30年9月12日、箕面市役所別館6階会議室Bにおいて、平成29年度箕面市地域公共交通活性化協議会の収支決算書及び関係書類等を監査したところ、監査に付された決算、書類等は正確でありましたので報告します。

なお、監査の結果、下記のとおり監査意見を附します。

### 記

#### 〈現状分析〉

1. 事業の支出内訳としては、バスの運行経費が約91%をしめており、年間経費としては約114百万円を要している。
2. 平日の本格運行経費にしめる料金収入の割合は約49%で、残りの負担は介護保険事業補助金が約23%で、市の負担は約28%となっている。
3. 休日の本格運行経費にしめる料金収入の割合は約31%で、残りの負担は介護保険事業補助金が約14%で、市の負担は約55%となっている。

#### 〈意 見〉

1. 収支率においては、平日は、約49%と目標の50%に近づいている一方、休日は、約31%と今後の伸びしろがある。高齢者の免許返納が増加しており、今後も高齢者の利用の増加が見込まれることもあり、休日の利用促進に向けた取り組みを本協議会で検討する必要がある。
2. 運行面においては、オレンジゆずるバスを運行する阪急バス(株)の運転手は、丁寧に車内アナウンスをしていただいております。運転手の中でバラツキがあるものの評判はよいと思われるので、引き続き、更なるサービス向上に向けて、努力いただきたい。

以上